

テーマ

かたち

子どもたちは、丸・三角・四角などの“かたち”に自然と興味を示し、触れたり並べたりしながら違いに気づいていきます。見たり、手で動かしたり、組み合わせたりする中で、形の面白さや発見が広がる時期だから、このテーマにしました。

形ってなあに？

子どもたちの中には、これまで形の名前を知らなかった子も多くいましたが、遊びや関わりを通して少しずつ名称を覚え、身のまわりのいろいろな形に興味をもって触れたり探したりする姿が増えてきました。

形の名前を知ることで、保育者の言葉が伝わりやすくなり、共通理解のもとで遊びが広がっていることも大きな変化です。

また、さまざまな形を知るようになったことで、自由画や制作の表現にも広がりが見られ、子どもたちの「描きたい」「つくりたい」という気持ちがより豊かに表れています。



作ってみよう

形が変わるおもしろさに気づいた子どもたちは、「ここが丸くなったよ」「〇〇みたいだね」と友だちと話しながら楽しむ姿が増えてきました。



振り返り

自分の手で形を変えることにも喜びを感じ、活動にも前向きに取り組んでいます。身のまわりの形にもよく気づくようになり、生活の中のものに例えて話す姿が見られるようになったことが、子どもたちの成長として嬉しく感じられました。



こどもの「すすく×わくわく」をおうえん